

令和３年８月１１日
教 育 委 員 会

所管事務調査

「教員が子どもと向き合える教育環境の整備について」

- １ 教員定数について・・・・・・・・・・ P ２
- ２ 教員確保のための取組みについて・・・ P ３～ ７

教員定数について

1. 今年度（令和3年5月1日時点）の教員定数

校種	定数計		
	基礎定数	加配定数	
小学校	2,378 人	4,404 人	376 人
中学校	1,338 人		
特別支援学校※	688 人		

※特別支援学校の小・中・高等部及び中央高等学園の合計（以下同じ。）

2. 昨年度（令和2年5月1日時点）の教員定数

校種	定数計		
	基礎定数	加配定数	
小学校	2,372 人	4,387 人	395 人
中学校	1,322 人		
特別支援学校	693 人		

3. 今年度と昨年度の比較

校種	定数計		
	基礎定数	加配定数	
小学校	+6 人	+17 人	-19 人
中学校	+16 人		
特別支援学校	-5 人		

◇小学校については、児童数等が減少したものの、小学校2年生の少人数学級化の影響により基礎定数は増加。

◇中学校については、生徒数の増加等により基礎定数は増加。

◇特別支援学校については、児童生徒数の減少等により基礎定数は減少。

◇加配定数については、小学校2年生の少人数学級分の加配が基礎定数化された影響により減少。

【今後の課題】

以下の点について、引き続き国に要望していくことが必要。

- ①今後、5年間で小学校の学級編制基準が35人に引き下げられることとなり、基礎定数の増加が見込まれるが、加配定数についても維持すること。
- ②中学校においても、小学校と同様に学級編制基準を引き下げよう、義務標準法を改正すること。

教員確保のための取組について

1 教員採用に係る現状について

(1) 採用倍率について

実施年度	H29 実施	H30 実施	R1 実施	R2 実施
全国	5.2 倍	4.9 倍	4.2 倍	3.9 倍
本市	3.7 倍	2.4 倍	2.1 倍	3.3 倍

- 平成 29 年度からの全国の採用倍率と本市採用倍率を比較すると、ともに減少傾向にある。

(2) 採用者数について（採用倍率低下の主要因）

実施年度	H12 年度		H22 年度		R2 年度
全国	11,021 人	→	26,886 人	→	35,058 人
本市	15 人		171 人		343 人

- 採用倍率の大きな要因として、大量退職に伴う採用者数の増加が寄与するところが多い。
- 全国値でみると、採用倍率が過去最高であった平成 12 年度では採用者数が 11,021 人であったのに対し、（採用倍率 13.3 倍）令和 2 年度では 35,058 人と 3 倍以上増えている。（採用倍率 3.9 倍）
- 本市においても、同じ年度で比較すると、平成 12 年度では採用者数が 15 人であったのに対し（採用倍率 20.5 倍）令和 2 年度では 343 名と大きく増加している。（採用倍率 3.3 倍）

(3) 限られた人材の奪い合い

- 各都道府県・自治体の教員採用試験において、受験者数の増加や教員不足への対応に向けた様々な取組を実施している。【資料 1】

（特別選考での 1 次試験免除、県外に受験会場、実技試験の廃止 等）

【採用倍率が高い県市】

	R2 (R1 実施)		R1 (H30 実施)		H30 (H29 実施)	
	県市名	倍率	県市名	倍率	県市名	倍率
1	沖縄県	8.1 倍	沖縄県	8.9 倍	沖縄県	9.1 倍
2	高知県	7.4 倍	三重県	7.7 倍	鹿児島県	8.5 倍
3	神戸市	7.1 倍	兵庫県	7.1 倍	熊本市	7.5 倍
参考	北九州市	2.1 倍	北九州市	2.4 倍	北九州市	3.7 倍

2 本市における取組について

本市教職員に求められ、期待される資質

- 地域への深い理解と愛情
- 培ってきた知識、技能、同僚性のある教育環境の土壌に立ち、常に視野を広げ、新しいことに挑戦する姿勢
- 児童生徒に寄り添う姿勢と人権尊重の精神

(1) 期待される資質等を備えた教員確保の取組Ⅰ

【採用試験内容の改善】(資料2)

豊富な経験を有した幅広い人材確保の実現のため

- 特別選考Ⅳ「大学等推薦特別選考」対象校種の追加
- 特別選考Ⅴ「社会人特別選考」の新設
- 特別選考Ⅵ「複数免許状所有者特別選考」の新設
- 特別選考受験者（現職教員枠、障害者枠除く）の第一次試験免除

(2) 期待される資質等を備えた教員確保の取組Ⅱ

【広報活動の強化】(資料3-1)

県内外の多くの大学から情熱ある人材の確保のため

- 各大学への教員採用試験に係る説明会の実施
 - ・令和3年度は16大学240名対象に実施
- 教員採用専用サイトの開設
 - ・本市の教育、採用試験等の情報を掲載、メールマガジンの配信
- 教員採用PR動画の作成
 - ・専用サイト上にPR動画をアップし教員の魅力ややりがいを配信

(3) 期待される資質等を備えた教員確保の取組Ⅲ

【「教師養成みらい塾」の実施(教育センター)】(資料3-2)

やる気に満ちた力のある人材の確保のため

- 令和3年度の登録者の内訳
 - ・大学4年生、短期大学2年生、大学院生2年、市内講師 123名
- 「教師養成みらい塾」の目的
 - ・求められる教師像についての意見交換や模擬体験を通して、教師へのイメージを深めるとともに、入職への意識を高める。
 - ・教師を目指す学生や講師同士が講座を通して交流することで、横のつながりをつくる。

3 今後について

- (1) 退職者数の減少に伴う採用者数の減少（＝採用倍率の改善）
- (2) 教員採用に係る説明会の高校等への拡充

受験倍率上位自治体との比較 ※R2（R1 実施）試験時点 【資料 1】

県市名		沖縄県	高知県	北九州市
R2 倍率 (順位)		8.1 倍 (1 位)	7.4 倍 (2 位)	2.1 倍 (最下位)
年齢制限		45 歳	49 歳 (現職枠 54 歳)	制限なし
試験日	1 次	7 月中旬	6 月下旬	7 月下旬
	2 次	8 月下旬	8 月上旬	8 月中旬
県市外会場		—	大阪（1 次）	東京 (R3～ 京都) ※現職枠のみ
特別 の 選 考	英語 有資格	△	△	●
	スポーツ・芸術 実績	●	△	—
	国際貢献・ 民間企業等	△	△	— (R4～ ○)
	教職経験	●	○	● (R4～ ○)
	前年度 1 次合格者	—	○	○
	複数免許 所持	△	△	— (R4～ ○)
	教職大学院	—	—	● (R4～ ○)
	大学等推薦	—	○	— (R3～ ○)
特色ある取組み ※R2 試験以降を含む			・「全国一早い」第一次試験の実施 ・県外（大阪）会場での第一次試験実施	・特別選考区分受験者の第一次試験免除（R4～）
採用倍率が高い理由		・地元出身受験者の安定確保	・併願受験者の確保（早期日程、大阪会場設定）	

※「特別の選考」について

○…1 次試験免除 ●…一部試験免除 △…加点

令和4年度（令和3年度実施）北九州市公立学校 教員採用候補者選考試験の実施について

1 主な変更点

（1）特別選考Ⅳ「大学等推薦特別選考」対象校種の追加

【推薦の対象となる校種等（教科）及び各大学等からの推薦可能人数】

- 小学校 5名以内
- 中学校（美術、技術、家庭） 各教科1名以内
- 特別支援学校（小学部・中学部） 小・中学部各2名以内

← 追加

（2）特別選考Ⅴ「社会人特別選考」の新設

民間企業等の社員又は職員としての勤務経験（3年間以上）がある者及び JICA 海外協力隊としての派遣経験（2年間以上）がある者を対象とする特別選考を新設する。

（3）特別選考Ⅵ「複数免許状所有者特別選考」の新設

下表の「特別選考の対象となる免許状」を所有する者又は取得見込みの者を対象とする特別選考を新設する。なお、「複数免許状所有者特別選考」の受験者は、所有する又は取得見込みの免許状に応じた試験区分に併願しているものとみなす。

試験区分		特別選考の対象となる免許状	併願先となる試験区分
小学校教員		中学校教諭普通免許状	中学校教員（所有する免許教科）
		特別支援学校教諭普通免許状	特別支援学校小学部教員
中学校教員		小学校教諭普通免許状	小学校教員
		特別支援学校教諭普通免許状	特別支援学校中学部教員
特別支援 学校教員	小学部	中学校教諭普通免許状	中学校教員（所有する免許教科）
	中学部	小学校教諭普通免許状	小学校教員

（4）第一次試験における適性検査の廃止

【第一次試験内容】

＜見直し前＞筆記試験（教職教養・専門試験）及び適性検査

↓

＜見直し後＞筆記試験（教職教養・専門試験）のみ

（5）特別選考受験者（現職教員枠、障害者枠除く）の第一次試験免除

【特別選考受験者（現職教員枠、障害者枠除く）への優遇措置】

＜見直し前＞第一次試験のうち、筆記試験の教職教養を免除

↓

＜見直し後＞第一次試験を免除

(資料3-1)

教員採用説明会大学訪問実績		
no.	訪問先大学	参加者数
1	西南女学院大学	8
2	中村学園大学	6※
3	九州産業大学	20
4	熊本大学	6※
5	九州女子大学	28
6	広島大学	5
7	福岡教育大学	30
8	九州共立大学	18
9	山口大学	9
10	梅光学院大学	26
11	大分大学	1※
12	東亜大学	30
13	下関市立大学	32※
14	IPU環太平洋大学	15
15	筑紫女学園大学	3
16	福岡女学院大学	3
	小計	240

※はオンライン説明会

(資料3-2)

みらい塾実績		
no.	大学名等	備考
1	福岡教育大学	【19大学 123名】 (みらい参加者塾参加者123名のうち、北九州市採用試験受験者は118名)
2	梅光学園大学	
3	九州女子大学	
4	中村学園大学	
5	東亜大学	
6	鹿児島大学	
7	九州共立大学	
8	熊本大学	
9	西南女学院大学	
10	九州産業大学	
11	北九州市立大学	
12	ノートルダム清心女子大学	
13	筑紫女学園大学	
14	山口学芸大学	
15	広島大学	
16	関西国際大学	
17	西南学院大学	
18	福岡女学院大学	
19	環太平洋大学	